

【コラム】米国における PFAS 水質規制の最新動向は？

NITE ケミマガ 第 584 号 (2022/05/11) に以下の記事を掲載しました。

●米国環境保護庁(US EPA)

【2022/04/28】

・EPA Delivers on Three Water Commitments in the Agency's PFAS Strategic Roadmap

→ <https://www.epa.gov/newsreleases/epa-delivers-three-water-commitments-agencys-pfas-strategic-roadmap>

標記のコミットメントが官報公示された。

米国環境保護庁 (US EPA) はバイデン政権の PFAS 汚染対抗計画 (Plan to Combat PFAS Pollution (2021/10/18)) における、PFAS 戦略的ロードマップ (PFAS Strategic Roadmap)* に基づき、国内の水質の PFAS 汚染から地域住民と環境を保護するための、以下 3 つのアクションを官報公示しました。100 億ドルという歴史的な金額が投資されます。

1. 水中の PFAS 検出方法の改善

ppb レベルで PFAS を広範に検出できる新規試験方法、*New Screening Method for the Determination of Adsorbable Organic Fluorine (AOF) in Aqueous Matrices by Combustion Ion Chromatography (CIC)* が公表された。個々の PFAS の検出方法と組み合わせ、廃水中の PFAS の存在と形成を理解するのに特に役立つ試験方法。実験室間バリデーションが今夏に実施され、更新版が今年後半に公表される予定である。

2. 水への PFAS 排出量を減少させるための許容基準の策定

“Addressing PFAS Discharges in EPA-Issued NPDES Permits and Expectations Where EPA is the Pretreatment Control Authority” という覚書を発行した。この覚書にはモニタリング条件、分析方法、汚染防止方法の使用、および PFAS 排出のための最良管理方法が記載されている。新規ガイダンスも発行する予定である。

3. PFAS から魚及び水界生態系の保護

PFOA と PFOS について、最初の水質浄化法水性生物基準を提案した。パブコメ期間後に、PFOA と PFOS の最終推奨基準を公表する。州や集団は最終水質基準の採用または地域に応じた水質基準等を検討する。

*)PFAS 戦略的ロードマップ (2021/10/18)とは:

[PFAS Strategic Roadmap: EPA's Commitments to Action 2021-2024](#)

2021 年～2024 年の PFAS 規制のロードマップ (EPA 行動コミットメント) です。ゴールは 3 つの R:

- ・ **Research.** PFAS の暴露と毒性、人健康および生態影響の理解、利用可能な最良の科学を取り入れて効果的な介入を拡大するために、研究、開発、および革新に投資する。
- ・ **Restrict.** 空気、土壌、および水から、人健康と環境に悪影響を与え得るレベルの PFAS の混入を予防的に防ぐ、包括的なアプローチを追求する。
- ・ **Remediate.** 人健康と生態系保護するために PFAS 汚染の浄化を拡大、加速する。

このロードマップによると、水質汚染に対して、今後の EPA の主なアクションは以下のとおりです。

- 飲料水中の PFOA 分析方法 更新版: 2024 年秋
- 飲料水の PFOA および PFOS 規制: 提案規則 2022 年秋、最終規則 2023 年秋
- PFOA の最終推奨基準: 水生生物 2022 年冬、人健康 2024 年秋